HOKUGA 北海学園学術情報リポジトリ
学校法人北海学園
北海学園大学
北海商科大学

タイトル	彙報・活動・編集後記・規定
著者	
引用	年報新人文学(16)
発行日	2019-12-25

Hokkai-Gakuen Organization of Knowledge Ubiquitous through Gaining Archives.

【彙報】

平成三十年度 **大学院文学研究科**

❖学位論文題目一覧

修士学位論文

●日本文化専攻修士課程

氏名	修士論文題目
海藤　梓	横井小楠門弟集団の研究
竜野征一郎	コア理論を用いた動画を中心としたオノマトペ学習教材の有用性の研究 ―e-learning システムを用いた調査を基に―

❖授業科目及び担当者（旧カリキュラム）

●日本文化専攻修士課程

授業科目	担当教員
日本文学特殊講義Ⅱ	田中　綾　教授
日本文学特殊講義演習ⅡA	田中　綾　教授
日本文学特殊講義演習ⅡB	田中　綾　教授
日本文学特殊講義Ⅳ	中村三春　講師
比較文学特殊講義Ⅰ	テレングト・アイトル　教授
比較文学特殊講義演習ⅠA	テレングト・アイトル　教授
比較文学特殊講義演習ⅠB	テレングト・アイトル　教授
比較文学特殊講義Ⅱ	大谷通順　教授
比較文学特殊講義演習ⅡA	大谷通順　教授
比較文学特殊講義演習ⅡB	大谷通順　教授
表象文化論特殊講義	大石和久　教授
表象文化論特殊講義演習A	大石和久　教授
表象文化論特殊講義演習B	大石和久　教授
日本言語文化特殊講義Ⅰ	中川かず子　教授
日本言語文化特殊講義演習ⅠA	中川かず子　教授
日本言語文化特殊講義演習ⅠB	中川かず子　教授
日本言語文化特殊講義Ⅱ	菅　泰雄　教授
日本言語文化特殊講義Ⅲ	徳永良次　教授
日本言語文化特殊講義演習ⅢA	徳永良次　教授

授業科目	担当教員
日本言語文化特殊講義演習ⅢB	徳永良次　教授
日本歴史文化特殊講義Ⅰ	追塩千尋　教授
日本歴史文化特殊講義演習ⅠA	追塩千尋　教授
日本歴史文化特殊講義演習ⅠB	追塩千尋　教授
日本歴史文化特殊講義Ⅱ	鈴木英之　准教授
日本歴史文化特殊講義演習ⅡA	鈴木英之　准教授
日本歴史文化特殊講義演習ⅡB	鈴木英之　准教授
日本歴史文化特殊講義Ⅲ	郡司　淳　教授
日本歴史文化特殊講義演習ⅢA	郡司　淳　教授
日本歴史文化特殊講義演習ⅢB	郡司　淳　教授
アイヌ文化論特殊講義	手塚　薫　教授
アイヌ文化論特殊講義演習A	手塚　薫　教授
アイヌ文化論特殊講義演習B	手塚　薫　教授
アジア文化論特殊講義Ⅰ	須田一弘　教授
アジア文化論特殊講義演習ⅠA	須田一弘　教授
アジア文化論特殊講義演習ⅠB	須田一弘　教授
アジア文化論特殊講義Ⅱ	李　俊鎬　講師

❖授業科目及び担当者（新カリキュラム）

●日本文化専攻博士（後期）課程

授業科目	担当教員
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅠA	テレングト・アイトル 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅠB	テレングト・アイトル 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅠC	テレングト・アイトル 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅡA	中川かず子 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅡB	中川かず子 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅡC	中川かず子 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢA	田中　綾 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢB	田中　綾 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢC	田中　綾 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅣA	徳永良次 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅣB	徳永良次 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅣC	徳永良次 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅤA	大谷通順 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅤB	大谷通順 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅤC	大谷通順 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅥA	菅　泰雄 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅥB	菅　泰雄 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅥC	菅　泰雄 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅦA	大石和久 教授

授業科目	担当教員
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅦB	大石和久 教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅦC	大石和久 教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠA	追塩千尋 教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠB	追塩千尋 教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠC	追塩千尋 教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡA	郡司　淳 教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡB	郡司　淳 教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡC	郡司　淳 教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢA	手塚　薫 教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢB	手塚　薫 教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢC	手塚　薫 教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅣA	須田一弘 教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅣB	須田一弘 教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅣC	須田一弘 教授

●英米文化専攻博士（後期）課程

授業科目	担当教員
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅠA	田中洋也 教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅠB	田中洋也 教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅠC	田中洋也 教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅡA	米坂スザンヌ 教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅡB	米坂スザンヌ 教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅡC	米坂スザンヌ 教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢA	上野誠治 教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢB	上野誠治 教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢC	上野誠治 教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠA	柴田 崇 教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠB	柴田 崇 教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠC	柴田 崇 教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡA	大森 一輝 教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡB	大森 一輝 教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡC	大森 一輝 教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢA	小松かおり 教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢB	小松かおり 教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢC	小松かおり 教授

●日本文化専攻修士課程

授業科目	担当教員
日本文学特殊講義Ⅱ	田中　綾　教授
日本文学特殊講義演習ⅡA	田中　綾　教授
日本文学特殊講義演習ⅡB	田中　綾　教授
日本文学特殊講義Ⅲ	中村三春　講師
比較文学特殊講義Ⅰ	テレングト・アイトル　教授
比較文学特殊講義演習ⅠA	テレングト・アイトル　教授
比較文学特殊講義演習ⅠB	テレングト・アイトル　教授
比較文学特殊講義Ⅱ	大谷通順　教授
比較文学特殊講義演習ⅡA	大谷通順　教授
比較文学特殊講義演習ⅡB	大谷通順　教授
日本思想特殊講義Ⅰ	鈴木英之　准教授
日本思想特殊講義演習ⅠA	鈴木英之　准教授
日本思想特殊講義演習ⅠB	鈴木英之　准教授
日本思想特殊講義Ⅱ	大石和久　教授
日本思想特殊講義演習ⅡA	大石和久　教授
日本思想特殊講義演習ⅡB	大石和久　教授
日本語研究特殊講義Ⅰ	中川かず子　教授
日本語研究特殊講義演習ⅠA	中川かず子　教授
日本語研究特殊講義演習ⅠB	中川かず子　教授
日本語研究特殊講義Ⅱ	徳永良次　教授

授業科目	担当教員
日本語研究特殊講義演習ⅡA	徳永良次　教授
日本語研究特殊講義演習ⅡB	徳永良次　教授
日本語研究特殊講義Ⅲ	菅　泰雄　教授
日本語研究特殊講義演習ⅢA	菅　泰雄　教授
日本語研究特殊講義演習ⅢB	菅　泰雄　教授
比較言語研究特殊講義･jⅠ	寺田吉孝　教授
比較言語研究特殊講義演習･jⅠA	寺田吉孝　教授
比較言語研究特殊講義演習･jⅠB	寺田吉孝　教授
日本史特殊講義Ⅰ	追塩千尋　教授
日本史特殊講義演習ⅠA	追塩千尋　教授
日本史特殊講義演習ⅠB	追塩千尋　教授
日本史特殊講義Ⅱ	郡司　淳　教授
日本史特殊講義演習ⅡA	郡司　淳　教授
日本史特殊講義演習ⅡB	郡司　淳　教授
環境文化特殊講義･jⅠ	手塚　薫　教授
環境文化特殊講義演習･jⅠA	手塚　薫　教授
環境文化特殊講義演習･jⅠB	手塚　薫　教授
環境文化特殊講義･jⅡ	須田一弘　教授
環境文化特殊講義演習･jⅡA	須田一弘　教授
環境文化特殊講義演習･jⅡB	須田一弘　教授

授業科目	担当教員
環境文化特殊講義ⅰⅢ	中村英重 講師
環境文化特殊講義ⅰⅣ	李　俊鎬 講師

●英米文化専攻修士課程

授業科目	担当教員
英米文学特殊講義Ⅰ	渡部あさみ 准教授
英米文学特殊講義演習ⅠA	渡部あさみ 准教授
英米文学特殊講義演習ⅠB	渡部あさみ 准教授
英語研究特殊講義Ⅰ	上野誠治 教授
英語研究特殊講義演習ⅠA	上野誠治 教授
英語研究特殊講義演習ⅠB	上野誠治 教授
英語研究特殊講義Ⅱ	米坂スザンヌ 教授
英語研究特殊講義演習ⅡA	米坂スザンヌ 教授
英語研究特殊講義演習ⅡB	米坂スザンヌ 教授
英語研究特殊講義Ⅲ	田中洋也 教授
英語研究特殊講義演習ⅢA	田中洋也 教授
英語研究特殊講義演習ⅢB	田中洋也 教授
欧米思想特殊講義Ⅰ	小柳敦史 准教授
欧米思想特殊講義演習ⅠA	小柳敦史 准教授
欧米思想特殊講義演習ⅠB	小柳敦史 准教授
欧米思想特殊講義Ⅱ	佐藤貴史 准教授
欧米思想特殊講義演習ⅡA	佐藤貴史 准教授
欧米思想特殊講義演習ⅡB	佐藤貴史 准教授
欧米思想特殊講義Ⅲ	安酸敏眞 教授
欧米思想特殊講義演習ⅢA	安酸敏眞 教授

授業科目	担当教員
欧米思想特殊講義演習ⅢB	安酸敏眞 教授
欧米史特殊講義Ⅰ	仲丸英起 准教授
欧米史特殊講義演習ⅠA	仲丸英起 准教授
欧米史特殊講義演習ⅠB	仲丸英起 准教授
欧米史特殊講義Ⅱ	大森一輝 教授
欧米史特殊講義演習ⅡA	大森一輝 教授
欧米史特殊講義演習ⅡB	大森一輝 教授
欧米史特殊講義Ⅲ	仲松優子 准教授
欧米史特殊講義演習ⅢA	仲松優子 准教授
欧米史特殊講義演習ⅢB	仲松優子 准教授
欧米史特殊講義Ⅳ	太田敬子 講師
環境文化特殊講義eⅠ	小松かおり 教授
環境文化特殊講義演習eⅠA	小松かおり 教授
環境文化特殊講義演習eⅠB	小松かおり 教授
環境文化特殊講義eⅡ	柴田 崇 教授
環境文化特殊講義演習eⅡA	柴田 崇 教授
環境文化特殊講義演習eⅡB	柴田 崇 教授

文学研究科教育・研究発表活動

◎二〇一九年度第一回〔全体ゼミ〕(修士課程二年・中間報告)

七月六日（土）10：20～13：40、本学AV4番教室にて開催された。修士課程二年に在学する5名の院生が次の題目で論文の構想とその内容の一部を発表した。(参加者約40名)

孔　継金「戦国期山科本願寺寺内町における本願寺と他宗教　―相互の関係性―」

伊藤翔太「前世説話を有する天皇について」

山﨑朔夜「『伊勢物語』における和歌の考察　―歌徳説話を手掛かりに―」

田澤あす美「介護分野における外国人人材の日本語能力記述文の検討　―介護関係者・技能実習生に対する調査を基に―」

佐野元紀「平安期における怪異と鬼　―『今昔物語集』を中心に―」

◎二〇一九年度第二回〔全体ゼミ〕(修士課程一・二年・中間報告)

十一月九日（土）10：30～12：00、本学AV4番教室にて開催された。修士課程一年に在学する一名と二年に在学する二名の院生が次の題目で論文の構想とその内容の一部を発表した。(参加者約30名)

辻見祐太「旧約聖書祭司文書における贖いの概念」

古田くるみ「士族と近代北海道の形成」

真島　毅「天皇の軍隊における〈命令・服従〉の論理　―二・二六事件を事例として―」

◎北海学園大学人文学会第七回大会

二〇一九年十月七日（月）15：00～17：30

本学国際会議場にて、人文学会第7回となるシンポジウムを開催した。今年度の人文学会シンポジウムでは、ドイツよりミュンヘン大学名誉教授のF・W・グラーフ博士をお招きし、人文学の学問性をどう担保するのかについて、国際的な取り組みの検討や、ドイツと日本の状況の比較に基づいたご講演をいただいた。

グラーフ博士の講演に続いて、小柳敦史先生が、最近の研究不正の事例を取り上げ、人文学の様々な分野の研究者が集う北海学園大学人文学会の役割について、人文学の学問性との関連で発表を行った。その後、コメンテータの須田一弘先生とジェレミー・ブシャー先生からのコメントや、参加者からの質疑応答があり、活発に議論が展開された。

司会：大森一輝（北海学園大学人文学部教授）

・講演

○人文学の学問性をどう担保するか

F・W・グラーフ（ミュンヘン大学名誉教授）

○人文学の学問性と研究不正―最近の事例より―

小柳敦史（北海学園大学人文学部准教授）

・コメンテータ

須田一弘（北海学園大学人文学部教授）

J・ブシャー（北海学園大学人文学部准教授）

編集後記

◉『年報新人文学』第16号をお届けします。本号には、論文三本、翻訳一本、報告一本が収められています。様々な分野から貴重な論考が集まりました。執筆された方々、また、厳正なる査読にご協力いただいた方々に心よりお礼を申し上げます。

◉本号の巻頭言「日本語のローマ字表記に対する西洋人の貢献」は、今年度で退職される中川かず子教授に執筆いただきました。先生が研究上のライフワークとして取り組んでこられた「外国人による日本語研究」の現代的解釈とも言うべき内容です。十六世紀のポルトガル人による日本語研究から、近現代に至る様々な西洋人の日本語研究を紹介しつつ、日本語の「ラ行音表記がなぜLではないのか」という点について紹介されています。年号が「令和」となった今日的なテーマと言える興味深いものとなっています。

◉追塩千尋氏には、「中世人の動物観　～『古今著聞集』巻二十「魚蟲禽獣」を素材に～」をご投稿いただきました。中世の日本人が有している「魚蟲禽獣」に対する意識を、当時の説話集である『古今著聞集』に類聚された説話から掘り起こそうとする意欲的な試みです。氏の丁寧な論述、他の説話集や古辞書などを丁寧に比較検討する論の運びは他の追随を許さない堅実なものと言えます。追塩先生は今年度をもって退職されますが、なお多くの研究課題に取り組む姿勢は我々のお手本となるに違いありません。先生の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたしたいと思います。

◉博士（後期）課程2年の佐々木律子氏からは「元正天皇期の北方経営」を投稿していただきました。今回の論文は、第15号掲載の「元正天皇期の政権構造」に続く二作目となります。佐々木氏は現在北海道文教大学人間科学部で助教（看護学）として勤務されていますが、日本古代史、特に「古代の女帝」に関心があり、本学大学院で学び、研究を進めております。『年報新人文学』がこうした大学院生による研究成果発表の場となることは大変喜ばしいことであり、引き続き積極的な投稿を期待しています。

◉関本真乃氏には、「『苔の衣』穂久邇文庫本系統巻一・四相当諸本について」をご投稿いただきました。先生がご自身の研究テーマとして取り組まれている、中世作り物語の中の一作品である『苔の衣』について、現存する諸本を主に本文の異同と、書写した人物の両面から考察したもので、最終的には3系統に分裂していること、その中から善本と考えられ

るものについての書承関係を解明しようとした丁寧な論考です。このような研究手法は、近年蔓延しつつあるネット至上主義的な研究姿勢に対する防波堤として評価されるべきと考えます。

◉テレングト・アイトル氏には「モンゴルの詩学――創成と構築、その基本概念と体系を巡って」をご投稿いただきました。アイトル氏には、第14号においても「詩におけるプラトン」と題した翻訳をご寄稿いただきました。本稿は、近刊の論考から「新時代」を迎えたモンゴル詩学の基本概念と研究史を踏まえ、その研究成果と今後の課題について、翻訳紹介してくださいました。

◉大学院研究生として在籍する守岡みのり氏から実践報告として「介護分野の外国人技能実習生における日本語使用意識の変化とその要因」を投稿していただきました。今後増大が予想される介護技能実習生の日本語使用意識について現場からの調査報告を行なっています。守岡氏は２０１７年に文学研究科修士課程を修了後、中国山東省済南大学にて専任日本語講師を務め、２０１９年より留学生に対する日本語教育のほか、介護分野の外国人技能実習生に対する日本語教育を実践されています。

（徳永良次・渡部あさみ）

『年報 新人文学』投稿規定

一、『年報 新人文学』は、人文学に関する広範な分野の研究成果を掲載し、内外の研究交流を図ることを目的とし、年一回発行を原則とする。

二、投稿原稿の著者は、人文学部及び文学研究科の所属者でなければならない。ただし編集委員会が認めた場合はその限りではない。

三、原稿は日本語、あるいは英語とし、種類と分量はそれぞれ次のとおりとする。

①原著論文で未発表のもの、日本語なら二〇、〇〇〇字、英語なら一〇、〇〇〇字程度。

②研究ノート・資料・報告など、日本語なら一二、〇〇〇字、英語なら六、〇〇〇字程度。

③書評など、日本語なら四、〇〇〇字、英語なら二、〇〇〇字程度。

④その他、編集委員会が必要と認めたもの。

四、原稿は編集委員会で厳正な審査を行い、採否を決定する。編集委員会は査読結果に基づき、原稿の一部変更を求めることがある。

北海学園大学大学院文学研究科
『年報 新人文学』編集委員会